

Psa

Chapter 49

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

1
הָעַמִּים כָּל־זֹאת שְׁמָעוּ־ מִזְמוֹר־ קָרָח לְבָנֵי־ אֶלְמִנָּח 1
民-よ すべて-の これ-を 聞きなさい 賛歌 賛歌 コラ-の-子ら-の 指揮者-のために
H3605 H2063 H8085 H4210 H7141 H5329
:הָלָד־ יֹשְׁבֵי־ כָּל־ הָאָזְנוֹ
世-に 住む-者-よ すべて-の 耳-を-傾けなさい
H2465 H3427 H3605 H0238

聖歌隊の指揮者によつてうたわせたコラの子の歌 もろもろの民よ、これを聞け、すべて世に住む者よ、耳を傾けよ。

2
וְאֶבְיוֹן עֲשִׂיר יָחַד אִישׁ בְּנֵי־ גָם־ אָדָם בְּנֵי גָם־ 2
そして-貧しい-者-も 富める-者-も 共-に 人-の 子-も 高い-者-も 人-の 子-も 低い-者-も
H0034 H6223 H0376 H1571 H0120 H1571

低きも高きも、富めるも貧しきも、共に耳を傾けよ。

3
:תְּבוּנוֹת־ לִבִּי וְהִגִּיתִּי חֲכָמוֹת יַדְבָּר פִּי 3
英知-を 私-の-心-の そして-思い 知恵-を 語る 私-の-口-は
H8394 H1900 H2454 H1696 H6310

わが口は知恵を語り、わが心は知識を思う。

4
:חִידָתַי־ חֲכָמוֹת־ אֲנִי לְמַשָּׁל אֲטָה 4
私-の-謎-を 琴-で 開く 私-の-耳-を たとえ-に 傾ける
H2420 H3658 H0241 H4912 H5186

わたしは耳をたとえに傾け、琴を鳴らして、わたしのなぞを解き明かそう。

5
:יְסוּבֵנִי עֲקָבֵי עוֹן רָע בְּיָמֵי אִירָא לָמָּה 5
困む-とき 私-の-かかと-の 不正-が わざわい-の 日-に 恐れる-のか なぜ
H5437 H6120 H5771 H3117 H3372 H4100

わたしをしえたげる者の不義がわたしを取り囲む悩みの日に、どうして恐れなければならないのか。

6
:יְתַהַלְלוּ עֲשָׂרָם וּבָרַב חֵילָם עַל־ הַבְּטָחִים 6
誇る 財産-の そして-多さ-を 富-を ~に 信頼-する-者
H6239 H7230 H2428 H0982

彼らはおのが富をたのみ、そのたからの多いのを誇る人々である。

7
לְאֱלֹהִים יִתֵּן לֹא־ אִישׁ יַפְרָה פָּרָה לֹא־ אָח 7
神-に 払え-ない 払え-ない 人-を 购え-ない 购う-こと-は 決して-ない 兄弟-であっても
H0430 H5414 H3808 H0376 H6299 H6299 H3808 H0251

:כַּפְּרוֹ
その-身代金-を

まことに人はだれも自分をあがなうことはできない。そのいのちの価を神に払うことはできない。

8
:לְעוֹלָם וְחָדַל נַפְשָׁם פְּדִיוֹן וַיִּקַּר 8
永遠-に そして-聞める たましい-の 购い-は そして-高価-である
H5769 H2308 H5315 H3365

הַשְׁחַתְּ : יִרְאֶה לֹא לְנֶצַח עוֹד וַיְחַיֶּ 9
 滅び-の-穴-を 見ない 見ない 永遠-に なお そして-生きる
[H7845](#) [H7200](#) [H3808](#) [H5331](#) [H5750](#) [H2421](#)

としえに生きながらえて、墓を見ないためにそのいのちをあがなうには、あまりに価高くて、それを満足に払うことができないからである。

יִאֲבֹדוּ וְנִבְעַר כָּסִיל יַחַד יָמוּתוּ חֲכָמִים וַיִּרְאֶה כִּי 10
 滅びる 無知-な-者-も 愚か-な-者-も 共-に 死ぬ 知恵ある-者-も 見る なぜなら
[H0006](#) [H1198](#) [H3684](#) [H4191](#) [H2450](#) [H7200](#)
 : חֵילָם לְאַחֲרֵים וְעֹזְבוֹ
 富-を 他人-に そして-残す
[H2428](#) [H0312](#)

まことに賢い人も死に、愚かな者も、獣のような者も、ひとしく滅んで、その富を他人に残すことは人の見るところである。

בְּשֵׁמוֹתָם קָרְאוּ וְדָר לְדָר מִשְׁכַּנְתֶּם לְעוֹלָם וּבְתֵימוֹ קָרְבָם 11
 自分-の-名-で 名付けた 世代-へ 世代-から 住まい-が 永遠-に 家-が 彼ら-の-内心-は
[H8034](#) [H7121](#) [H1755](#) [H1755](#) [H4908](#) [H5769](#) [H7130](#)
 : אֲדָמוֹת עָלֵי
 土地-の ~-の-上-に
[H0127](#)

たとい彼らはその地を自分の名をもって呼んでも、墓こそ彼らのとしえのすまい、世々彼らのすみかである。

: נִדְמוּ: כְּבַהֲמוֹת נִמְשָׁל יִלְיָן בַּל- בִּיקָר וְאָדָם 12
 滅びる 獣-の-ように たとえられる 留まれ-ない 留まれ-ない 荣誉-の-中-に しかし-人-は
[H1820](#) [H0929](#) [H1077](#) [H3366](#) [H0120](#)

人は栄華のうちに長くとどまることはできない、滅びうせる獣にひとしい。

: סֵלָה: יִרְצֹו בְּפִיהֶם וְאַחֲרֵיהֶם לָמוּ כָּסָל רָרְכָם זָה 13
 セラ 喜ぶ 口-で-彼らの そして-後-の-者-は 彼ら-の 愚かさ-の 彼ら-の-道 これ-が
[H5542](#) [H7521](#) [H6310](#) [H3689](#) [H1870](#) [H2088](#)

これぞ自分をたのみ愚かな者どもの成りゆき、自分の分け前を喜ぶ者どもの果である。[セラ

לְבָקָר וְיֹשְׁרִים בָּם וַיְרַדּוּ יָרְעֵם מוֹת שִׁתּוֹ לְשֹׂאֵל וּכְצֹאֵן 14
 朝-に 正しい-者-が 彼ら-を そして-治める 飼う 死-が 置かれる 陰府-に 羊-の-ように
[H1242](#) [H3477](#) [H4194](#) [H8371](#) [H7585](#) [H6629](#)
 : לוֹ: מִזְבֵּל שֹׂאֵל לְבָלוֹת (וְצוּרָם) וְצִירָם
 彼ら-の 住まい-から 陰府-が 朴ちる そして-形-は その
[H2073](#) [H7585](#) [H1086](#) [H6699](#) [H6736](#)

彼らは陰府に定められた羊のように死が彼らを牧するであろう。彼らはまっすぐに墓に下り、そのかたちは消えうせ、陰府が彼らのすまいとなるであろう。

: סֵלָה: יִקְחֵנִי כִי שֹׂאֵל מִיָּד- נַפְשִׁי יַפְדֶּה אֱלֹהִים אֲדָ- 15
 セラ 受け入れる なぜなら 陰府-の 手-から 私-の-たましい-を 買う 神-が しかし
[H5542](#) [H3947](#) [H7585](#) [H3027](#) [H5315](#) [H6299](#) [H0430](#) [H0389](#)

しかし神はわたしを受けられるゆえ、わたしの魂を陰府の力からあがなわれる。[セラ

: בֵּיתוֹ: כְּבוֹד יִרְבֶּה כִּי- אִישׁ יַעֲשֶׂר כִּי- תִירָא אֶל- 16
 その-家-の 栄光-を 増す-とき 増す-とき 人-が 富む-とき 人-が 恐れる-な 恐れる-な
[H3519](#) [H0376](#) [H6238](#) [H3372](#) [H0408](#)

人が富を得るときも、その家の栄えが増し加わるときも、恐れてはならない。

אַחֲרָיו יָרַד לֹא- הַכֹּל יָקַח בְּמוֹתוֹ לֹא כִּי 17
 彼-の-後-に 下り-ない 降り-ない すべて-を 持って-行けない 死ぬ-とき 何も-ない なぜなら
[H3381](#) [H3808](#) [H3605](#) [H3947](#) [H4194](#) [H3808](#)

כְּבוֹדוֹ:
 栄光-は-その
[H3519](#)

彼が死ぬときは何ひとつ携え行くことができず、その栄えも彼に従って下って行くことはないからである。

כִּי וַיְהַלֵּךְ יְבָרַךְ בְּחַיָּו נַפְשׁוֹ כִּי 18
 うまく-行く-とき そして-讚える 祝福し 生きて-いる-うち-に その-たましい-を たとえ
[H3034](#) [H1288](#) [H5315](#)

לָךְ:
 自分-の-ために うまく-行く-と
[H3190](#)

たとい彼が生きながらえる間、自分を幸福と思っても、またみずから幸な時に、人々から称賛されても、

אֹרֶ: יִרְאוּ- לֹא יָצַח עַד- אֲבוֹתָיו דּוֹר עַד- תָּבוֹא 19
 光-を 見ない 見ない 永遠-に 永遠-に 先祖-の 世代 ~の-もと-へ 行く
[H0216](#) [H7200](#) [H3808](#) [H5331](#) [H5704](#) [H0001](#) [H1755](#) [H5704](#) [H0935](#)

彼はついにおのれの先祖の仲間に連なる。彼らは絶えて光を見ることがない。

נִדְמָו: כְּבַהֲמוֹת נִמְשָׁל יָבִין וְלֹא בִּיקָר אָדָם 20
 滅びる 獣-の-ように たとえられる 惟る-ことなく 理解-しない 荣誉-の-中-に-いても 人-は
[H1820](#) [H0929](#) [H0995](#) [H3808](#) [H3366](#) [H0120](#)

人は栄華のうちに長くどまることができない。滅びうせる獣にひとしい。